

2000年 千葉県大問4(2)

1. 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

Mary people have begun to use cellular phones. They like them because they can call anyone at almost any time from almost any place. Cellular phones are convenient, but it is () to use them with good manners. For example, people should not use cellular phones on trains, in libraries, and in other public places. Using a cellular phone is very dangerous when you are driving. Cellular phones are useful, but we need to be careful with them.

(注) cellular phone : 携帯電話 almost : ほとんど convenient : 便利な

(注) manners : マナー public : 公共の dangerous : 危険な

①本文の流れに合うように、()に入れる最も適当なものを選び。

ア sad イ beautiful ウ important エ wrong

②本文の中で述べられている内容と一致するものを、一つ選べ。

- ア 携帯電話は以前より安くなったが、まだ多くの人には利用されていない。
- イ 携帯電話は、車の運転中でも注意して使用すれば、危険なことはない。
- ウ 携帯電話は軽量化され、ますます便利になってきている。
- エ 携帯電話は便利であるが、時や場所を考えて使用する必要がある。



2000年 千葉県大問4(2) 答え

- ① ア sad イ beautiful ウ important エ wrong
- ② エ

心の中で、被せる(かぶせる)ように訳す。
 (例)鈴木さんはいつも学んでいます。何を?新しい事を(学んでいます)。※青色の語句が被せられた語句です。

解説&読解ポイント



英文は、前から訳す。
 元気な中国のおばちゃんっぽく訳す。
 「私、作った、トムヤムクン、昨日!」

thing, place, a lot, way に to が続く時は、「する」か「ために」をそれぞれ当てはめる。

何を?
 Mary people have begun to use cellular phones.
 多くの人々が 使い始めています 携帯電話を

人々 携帯 人々 誰に?
 They like them because they can call anyone at almost any time from almost any place.
 多くの人々は なぜなら 電話できる 誰にでも ほとんどどんな時でも ほとんどどんな場所からでも 携帯電話が好きです。 からです。

any は「何でも」、「あらゆる」、という意味です。 ↓これも。

They like them.について。
 They は Many people のこと。
 them は cellular phones のこと。

2 回目の登場(they)は、訳さずに、省略するほうが、自然な日本語になる。

↓代名詞は具体的に訳す。
 They like them because they can...
 ↑代名詞は具体的に訳す。↑
 2 回目の代名詞は訳さない。

it~to 構文: ...することは~だ。

Cellular phones are convenient, but it is () to use them with good manners.
 携帯電話を使うことは () だ 良いマナーを持って

何を?
 For example, people should not use cellular phones on trains, in libraries, and in other public places.
 使うべきではない。

with は、「一緒に」「持って・た」「使って」「したまま」「があれば」と、多彩です。場面に合わせて使い分ける。

羅列のカンマ A,B, and C : A と B そして C だ。

使うことは
 Using a cellular phone is very dangerous when you are driving.
 携帯電話を使うことは 運転をしている時に

役に立つ 注意深い
 Cellular phones are useful, but we need to be careful with them.
 なる必要がある

but 以降の翻訳は以下。
 私たちは、携帯電話に注意深くなる必要がある。

be careful about(または with)~ : ~に注意する。と、辞書に載っています。ですが、英文を読んで理解する。という目的に関して、about か with かはどうでもいいです。ということは、前置詞の訳し方で悩む必要は、あまりない。ということです。正直私も、この with them に合う日本が見当たりません。「携帯電話に関して」あたりでしょうか。これで良いと思います。自分が解釈できる日本語にできれば良いんだ。くらいの気持ちでいてください。

英文は、前の語句に色付けをしながら読み進めます。

(例) The book on the desk is mine.
 その本は、机の上にある、私のものです。



the book は「本」。まだ、「どんな本なのか」、分かりませんよね。そこに on the desk が、色付けをしてくれます。

英文は、語句を読むごとに、想像を重ねていくイメージを持って読み進めていくと、内容が頭にスッと入ってきます。

- 英文は、疑問に答える順番で語句が並んでいる。だから「ツッコミ」を入れ、答えを探すように後ろを読むのが基本スタイルです。 何を?
- (例) I ate cakes. ぼくは食べた。ケーキを(食べた)。

- 文末は、「場所」「with 人」「時」の順番になります。ただし、いずれかが欠けている場合は、強調したい語句が前に来ます。また、on the street near my house のように、「狭い→広い」順番になります。

- 一般動詞の次、名詞の次、be 動詞の次の語句の次で切り、前から順番に訳していきます。

- 黄色...名詞です。桃色...前置詞+名詞です。
- 緑色...等位接続詞 or 接続詞の that です。